

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2021～22年度 大宮西ロータリークラブ週報



創立：1963年3月22日

会長 福田 和子

例会場：パレスホテル大宮

幹事 押野 一郎

第2714例会 2021/12/13

例会日：月曜日 12:30～13:30

雑誌・会報委員会 廿野 幸一

発行日 2021/12/20

会長挨拶



会長 福田 和子

皆さんこんにちは！
お忙しいところ会場にお越しの皆様、Zoomで参加の皆様、有難うございます。

年の瀬も押し迫り、仕事する日数もあと2週間になりました。

そんな中、大河ドラマ「青天を衝け」の主人公 渋沢栄一の

「論語の里」に行ってきました。皆さん、大河ドラマ観ておられますか？ 以前、中村雅之 50代目会長の年の移動例会で深谷に行き、記念館・中の家（なかんち）を見学させていただきました。が、渋沢栄一の「論語の里」を、もっとゆっくり見学したかったもので再訪いたしました。

このところ、いろいろな番組を見て思いますのは、こんなに素晴らしい「近代日本経済の父」が埼玉・深谷にいたのだということ。今まであまり認識していませんでした。500もの企業を設立、600の学校施設や病院といった社会事業に関して作り上げた人です。日本国を経済の力で強くして世界に通用させるために、日夜、超人的に活動された方です。また、母親の影響で、慈悲の心で社会福祉活動を推進し、国際親善にも尽力されたようです。

「経済と福祉」、この両輪はロータリーに通じるものが有ります。

1905年、シカゴでロータリーが発足した頃、渋沢栄一はアメリカへ訪問しておりました。1920年、日本に初めて東京ロータリークラブが出来た時は、渋沢栄一は80歳でした。ロータリークラブを知る由も無かったのか、書籍には出てきません。私の知識不足なのかもしれませんが、

調べてみたいのです。

栄一と（のちに妻となった）尾高千代の家は、一直線で近くにあります。その場に佇むと、血洗島付近の空気・風の流れ、鳥のさえずり、幼き頃の出会いが感じられ、ほのぼのとしてタイムスリップしたような気がしました。渋沢栄一も好んで食べたという、深谷名物 煮ぼうとうをしっかりといただきました。手を振るアンドロイドの渋沢栄一は、男気のある、まさにジェントルマン。私も思わず手を振り、会館を後にしました。

2024年には、渋沢栄一肖像画の新1万円札が発行されます。私にどれだけ集まるかなと思いつつ、これにて会長挨拶といたします。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】
佐藤 淳也 会員



お客様紹介、米山記念奨学生紹介

■ 埼玉県立特別支援学校 大宮ろう学園
校長 荒井 宏昌 様
教諭 伏見 千春 様

■ オプザーバー／武蔵野冷蔵株式会社
代表取締役社長 佐野 育 様

■ 2021 学年度 米山記念奨学生
グエンティガン さん (Zoom)
(ご紹介： 副会長 藤嶋 剛史)



幹事報告

幹事 押野 一郎

①次回、12/20（月）は、クリスマス夜間例会で18時からです。にぎやかな例会にしたいです。皆様、ご参加ください。

心に夢を 奉仕に行動を

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/

